



石岡の「エジソン」になろう！ 第36期石岡少年少女 発明クラブ発会式

今年で36周年を迎えるクラブでは、これまで1200人以上が創作活動に取り組み、県発明工夫展で特別賞や学校賞など数々の賞を受賞してきました。クラブの指導員は、学校の先生やOB、工務店店主、元エンジニアが中心です。これまでに創作された作品は、県展や全国発明クラブ創作展、各種アイデア賞などに出品され、好評を博してきました。クラブでは、一年を通して、子どもたちの創造性や観察力を育む活動が多数企画されています。



▲活動初日は箸づくりに挑戦。子どもたちは、のこぎりやカッターなどを注意深く扱っていました。



▲ステージイベントや物販の様子。この日は母の日ということもあり、子どもたちがお母さんへ感謝の手紙を作る体験ブースも出展されました。

御幸通り商店街振興組合主催 石岡ステーションパークにて いしおか市場開催

5月14日に令和5年度第1回いしおか市場が開催されました。このイベントは、市の玄関口である石岡駅西口を中心とした、駅周辺の活性化や観光・商業の発展を目的として令和3年度より、定期的に行われています。当日は、石岡セレクト認証品をはじめとする石岡ならではの土産品や、各種物販、キッチンカーやステージイベントなどの出展があり、多くの人で賑わいました。

次回の開催日程は7月9日です。

おばあちゃんは芸術家 上杉ミツ子さん刺繍展 まちかど情報センターにて開催

上杉ミツ子さんの没後5周年を称え、刺繍作品と生前時の写真の展示が行われました。上杉さんは平成30年に111歳でこの世を旅立った刺繍作家さんで、晩年は石岡市にお住まいでした。93歳の時に老人ホームに入居、この頃から趣味で文化刺繍や手編みを始めたそうです。刺繍展には、東日本大震災チャリティバザールで作品を購入した方が鑑賞に訪れ、購入作品とともに、上杉さんご家族と久しぶりの再会をはたしました。



▲水戸市在住の丸山さんご夫妻が購入された作品「苔寺」は、もみじの落葉の表現が細部まで鮮やかな作品で、秋には玄関先に飾り、季節の訪れを楽しんでいるとのことでした。



広域連携で地域を守る

廃棄物の不適正処理事案 広域ホットライン協定を締結

石岡市、小美玉市、かすみがうら市、茨城町は、廃棄物の不適正処理事案にすばやく対応することを目的に、県内では初となる、4市町による広域連携ホットライン協定を締結しました。この協定に基づき、不法投棄や不適正残土を発見した際には、近隣自治体がリアルタイムで情報共有を図ることによって、不適正な事案の発生を抑止すること、また、これらの取り組みを幅広くPRしていくことによって未然防止体制の強化が期待できます。



▲(写真左から) 宮嶋市長(かすみがうら市)、谷島市長(石岡市)、島田市長(小美玉市)、小林町長(茨城町)



▲(写真左から) 三浦紙器工業株式会社松本専務、谷島市長、三浦紙器工業株式会社三浦代表取締役、営業部広瀬課長

石岡市×三浦紙器工業(株)

災害時における応援協力 に関する協定を締結

5月29日に三浦紙器工業株式会社と「災害時における段ボール製品の保管・輸送等に関する協定」を締結しました。この協定は、災害発生時または災害が発生するおそれがある場合において、避難所の運営などに備えている段ボールの保管や輸送、使用した段ボール製品の回収のほか、円滑な製品の提供について、応援協力を行っていただくものです。協定締結により、防災倉庫内の省スペース化が図られることで、備蓄スペースの確保が期待されます。

石岡の魅力が詰まっています

石岡市ブランドメッセージ ロゴマーク表彰式を開催

ロゴマークは全国から69点の応募があり、一次選考を通過した6点でオンライン投票を実施。総数1424票のうち静岡県焼津市の会社員寺崎結菜さんの作品が最多の671票を獲得し、採用されました。

寺崎さんは表彰式にて「石岡市をホームページで検索すると、幌獅子が出てくるのでアピールポイントになると思った。ロゴマークが多くの人に石岡を知ってもらおうきっかけになってほしい」と話してくれました。



▲ロゴマークと寺崎さん。ロゴマークは幌獅子の周りにサイクリングにちなんだ自転車や、イチゴ・柿などの特産品が描かれています。